

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	京都市朱雀工房	施設種別	障害者施設 就労継続 B、就労移行
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成 26 年 3 月 3 日

総 評	<p>母体である社会福祉法人京都光彩の会は、京都市が京都市家族会連絡協議会を支援し、精神に障害のある人たちの地域での暮らしや就労の支援を総合的に支援していくことを目的とし、現在3つの事業所と生活支援センター、グループホーム3か所（指定はグループホーム1か所でまとめて受けています。）を運営されています。</p> <p>そのうちのひとつである「京都市朱雀工房」は、平成23年11月に障害者総合福祉法に基づく就労移行支援・就労継続支援事業B型に移行し、多機能型事業所となっています。</p> <p>「就労に向けてご自身のペースですすんでいけるよう期限のある「就労移行支援事業」とゆったりと期限なく利用していただける就労継続支援事業B型を設け、あなたの「働きたい」を応援します。」というキャッチフレーズで表せるように、利用される方々の特性に合わせた就労を目的とした支援を実施しています。</p> <p>就労移行事業所では、職場実習などと共に、面接の練習や履歴書の書き方、身だしなみや社会人のマナーについてなど、就職に向けての学習、対人スキルを身につけるための、SST（社会適応訓練）等にも力を入れています。</p> <p>就労継続B型事業所では、利用者の対象を「日中の居場所を見つきたい方」とし、種々の箱折りや簡易作業、商店街での昼食会の接客やコインパーキング清掃（月2回）などの作業と、その他、お菓子作りなどレクリエーションも行っています。</p> <p>今回の調査では、自己評価を施設長が中心となり事業所の運営を見直すきっかけ作りと位置づけ、厳しく自己評価されていることが、評価の根拠、特記事項欄の記入内容より伺うことができました。また、職員の「めざす職員像アンケート」についても今後に期待できる取り組みだと思われまます。</p> <p>改善すべき点としては、安全管理の面で、すぐにでも着手できるところから始めて行かれてはいかがでしょうか。（例えば、災害発生時を想定した出勤体制や安全確保に関する検討会に利用者の主体的参加を促す取り組みなどです。）</p> <p>また、利用者の主体的な活動や意見を述べる場を「メンバーミーティング」から一歩進めて「自治会」的な組織に発展させてはいかがでしょうか。</p> <p>精神に障害のある方々の地域での生活を支えるため、今後さらに自立と社会参加に対する支援を行われていくことを期待しております。</p>
-----	--